

11/5
木

岸田文雄政権は、年末に予定する「国家安全保障戦略」など安保関連文書の改定に向けた作業を急ピッチで進めています。その最大の焦点である「反撃能力」（敵基地攻撃能力）の保有をめぐり、岸田政権が、米国製の長距離巡航ミサイル「トマホーク」の購入を米政府に打診していることが分かりました。岸田首相は「反撃能力を含め、あらゆる選択肢を排除せず検討する」と繰り返すだけで結論を明らかにしていません。トマホーク導入の動きは、敵基地攻撃能力の保有を先取りし、既成事実化する重大な動きです。

戦争の火ぶたを切る

トマホークは米軍が保有し、遠く離れた地上の目標を攻撃する

密説導ミサイルです。イージス艦や原子力潜水艦から発射されますが、米海軍のホームページによると、射程は「600キロメートル」で、海上で展開できるため、北朝鮮全土や中国の主要都市も射程圏内に入ります。

初めて実戦投入されたのは、1

991年の湾岸戦争です。米国によると、001年のアフガニスタン、02年のイラク侵略戦争でも攻撃の第一撃として使用され、米軍横須賀基地（神奈川県）を母港とするイーシス艦からも発射されました。文字通り、戦争の火ぶたを切る兵器です。

「精密説導」と呼ばれるものの、誤爆によって軍事施設だけではなく、民間地帯も被弾し、罪のない一般市民も犠牲になっています。トマホークは海上自衛隊が保有するイージス艦のミサイル垂直発射装置を改修すれば、運用可能になります。

岸田政権が米国からトマホークを購入しようとしているのは、敵基地攻撃への転用も念頭に開発を進めている自衛隊の国産ミサイルです。しかし、岸田政権は、長距離巡航ミサイルを発射できる潜水艦を保有するため、「実験艦」を新造する方向で調整に入っています。

常軌を逸した軍拡への大暴走

「12式地対艦説導弾能力向上型」の実戦配備が26年度になる頃通りだそうです。

防衛省は、同ミサイルの射程を1000キロメートルに伸ばすとともに、地上からだけではなく、艦船

991年の湾岸戦争です。米国によると、001年のアフガニスタン、02年のイラク侵略戦争でも攻撃の第一撃として使用され、米軍横須賀基地（神奈川県）を母港とするイーシス艦からも発射されました。文字通り、戦争の火ぶたを切る兵器です。

「12式地対艦説導弾能力向上型」の実戦配備が26年度になる頃通りだそうです。

防衛省は、同ミサイルの射程を1000キロメートルに伸ばすとともに、地上からだけではなく、艦船

や航空機からも発射可能になりました。射程も、これまでの半分の100キロメートルから、倍の200キロメートルになりました。射程が伸びたことで、敵の軍事施設に対する攻撃範囲が広がりました。

「精密説導」と呼ばれるものの、誤爆によって軍事施設だけではなく、民間地帯も被弾し、罪のない一般市民も犠牲になっています。トマホークは海上自衛隊が保有するイージス艦のミサイル垂直発射装置を改修すれば、運用可能になります。

岸田政権が米国からトマホークを購入しようとしているのは、敵基地攻撃への転用も念頭に開発を進めている自衛隊の国産ミサイルです。しかし、岸田政権は、長距離巡航ミサイルを発射できる潜水艦を保有するため、「実験艦」を新造する方向で調整に入っています。

「12式地対艦説導弾能力向上型」の実戦配備が26年度になる頃通りだそうです。

防衛省は、同ミサイルの射程を1000キロメートルに伸ばすとともに、地上からだけではなく、艦船

991年の湾岸戦争です。米国によると、001年のアフガニスタン、02年のイラク侵略戦争でも攻撃の第一撃として使用され、米軍横須賀基地（神奈川県）を母港とするイーシス艦からも発射されました。文字通り、戦争の火ぶたを切る兵器です。

「12式地対艦説導弾能力向上型」の実戦配備が26年度になる頃通りだそうです。

防衛省は、同ミサイルの射程を1000キロメートルに伸ばすとともに、地上からだけではなく、艦船

や航空機からも発射可能になりました。射程も、これまでの半分の100キロメートルから、倍の200キロメートルになりました。射程が伸びたことで、敵の軍事施設に対する攻撃範囲が広がりました。

主張トマホーク導入